

Mira Robotics株式会社

ビルメンテナンス業界の人手不足を解消するアバターロボットugo

概要

日本の労働人口は今後20年で1428万人減ると言われている中、特に人手不足が深刻なビルメンテナンスサービス業務を人とロボットの分業モデルで解決する、アバターロボットの開発をしています。

特徴

- 軽作業が可能な2本のアーム。単腕1kg程度の物が持てるほか、エレベーターのボタンを押すことも可能である。また、人に似せた関節機構のため誰でも直感的に操作が可能。
- 遠隔操作と自動化をあわせもつ。3つのカメラから映された映像を見ながら操作ができ、一人で複数台操作することも可能。また定型動作は自動で行う。
- カメラ、ToF、LiDAR、マイクを含む22個のセンサーを搭載。センサーで施設の環境データを収集することができる。また高さ調節の昇降機能で上体を30cmから165cmに移動できる。

今後の展開

- オフィスビルに限らず、商業施設や建設現場など様々な施設に横展開していき、少子高齢化社会に適したサステナブルな運用システムを実現していく。

Withコロナ時代に適した働き方へ

- コロナ禍で生まれた検温業務や感染リスクの高い巡回や立哨警備業務をugoに任せることで感染リスクを抑えることができる。ugoを通してエッセンシャルワーカーにとって非接触な働き方の手段として提供していきたい。

ビルメンテナンス向けアバターロボット

ugo



※「整備」以外は検討中の機能のため、今後変更する場合がございます。

